

池辺寺リポート

第2号
平成24年1月発行

明治3年頃、廢仏毀釈運動によって池辺寺は打ち壊され、独鈷山にあった日吉神社を移したのが現在の池上日吉神社です。今でも神社境内には池辺寺の石仏・石碑・僧墓などがあります。池辺寺の堂内にあった仏像や宝物のほとんどは地元に残り、指定文化財として県立美術館などに保管されています。

池辺寺縁起絵巻には「池辺寺は味生池に住む悪龍を鎮めるために奈良時代初め（8世紀初め）に建てられた」と記されていますが、百塚地区で発見された遺跡は平安時代初め（9世紀初め）のものです。百塚地区の池辺寺跡は国史跡に指定され、現在も周辺地区での発掘調査が進められています。講演や出土品展示など活用事業も積極的に行っています。



池上日吉神社



日吉神社奥の石仏



池辺寺住職(僧)の墓



百塚地区



池辺寺縁起絵巻(一部分)(池辺寺跡財宝管理委員会所蔵)

◎平成23年の活動成果

[調査]

- 百塚地区：図面作成作業・イノシシ被害の処置など
- 金子塔地区：確認調査・踏査など

[講演・展示など]

- 展示中：金峰山少年自然の家にて池辺寺跡出土土器・瓦などを展示
- 展示中：熊本市埋蔵文化財資料室にて「史跡池辺寺跡出土品」常設展示
- 熊本市立熊本博物館「熊本市遺跡発掘速報展2011」にて堂床地区出土土器・瓦を展示（23.12～24.1）
- 熊本市立熊本博物館「西海道と肥後国 出土品からみた古代のくまもと」にて百塚地区出土瓦・石製品を展示（23.9～23.10）
- 熊本市埋蔵文化財資料室体験学習講座「出土品を使って考える 池辺寺跡」にて土器・瓦・石製品等を使って講義（23.1.16）
- 熊本市立池上小学校ふれあい祭「味生祭」にて土器・瓦・パネル等を展示（23.2.13）
- 池上地域コミュニティセンター講座「池辺寺Ⅰ」（23.4～24.2）
- 池上公民館講座「池辺寺Ⅱ」（23.4～24.3）
- 熊本市立塚原歴史民俗資料館郷土史講座「伝説の山岳寺院 池辺寺跡」（23.4.17）
- 池辺寺観音祭講話「味生池の龍はいつからいたのか」（23.9.10）
- 歴史ウォーク「池辺寺跡周辺」（23.12.17）



体験学習講座(H23.1.16)



歴史ウォーク(H23.12.17)



「味生祭」(H23.2.13)

作品です。「味生池と龍」伝説を描いています。



味生池推定地の現在



月感上人の記念碑

◎味生池（あじうのいけ）

『古事記』『日本書記』に続く「國の史書」として『続日本紀』があり、そこに奈良時代初めの肥後国司道君首名の功績が記されています。国司とは天皇に任命された各國の長官のことです、つまり当時の熊本県を治めていた人です。「首名は民に農業・畜産を奨励し、味生池という大きな溜池を築き、民は大いに喜んだ」そうです。

その後、池は加藤清正によって埋め立てられましたが、現在のように水田地となったのは月感上人の尽力によると伝えられています。池は独鉢山・花岡山・妙觀山に囲まれた区域（池上小学校北東の低地一帯）が想定地です。月感上人の墓は池上町新村にあり、味生池の名残は「池上」という地名にも残されています。

◎出土品の紹介② 土器（どき）

池辺寺跡から出土する土器のほとんどが灯明皿で、土器の縁に黒く焦げた油が付いています。遺跡のいたるところからたくさん出土し、さまざまな場面で使われたようです。

特に百塚地区の百塔跡では、整然と並ぶ100基の石塔に灯りが揺らめく情景が想像されます。

通常の生活に使うような土器は、池の上地区や鳥帽子地区など限られた場所からのみ発見されています。僧坊（僧が生活する場）があったのかもしれません。



灯明皿（縁に油煤が付く）



灯明皿の出土状況（百塚地区）



灯明の再現



日常に使う土器（池の上地区出土）



獨鉢杵（池辺寺跡財宝管理委員会所蔵）

◎宝物の紹介② 獨鉢杵（どっこしょ）・・・県指定文化財

仏敵や煩惱を打ち破るための武器で、密教の法具です。両端の尖った部分（=鉢）が1つずつなので独鉢といいます。池辺寺に伝わる独鉢杵は、空海が唐から投じたものといわれていますが、鎌倉時代のものだそうです。柄の部分には鬼面が描かれています。独鉢山の名の由来となっています。





平成22年度 池上小学校5年生 共同制作「池上 今も昔も 大好き」

池上小学校



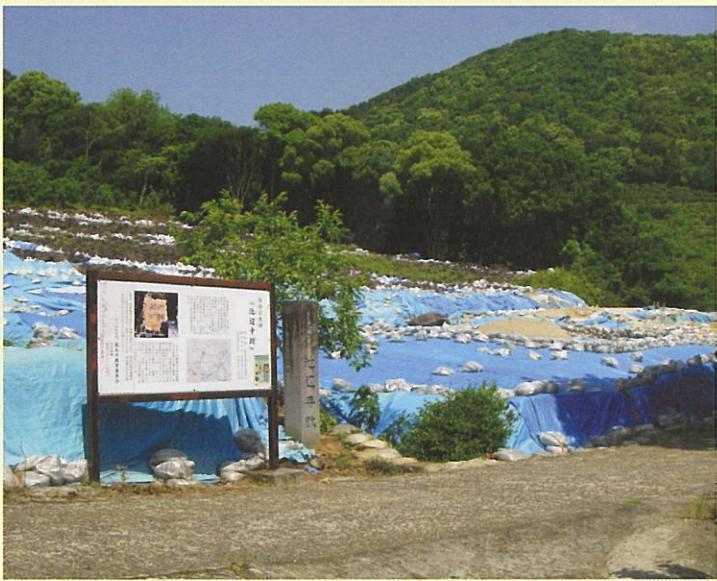
平成22年度 池上小学校3年生 共同制作「味生の龍とわたしたち」

池上小学校

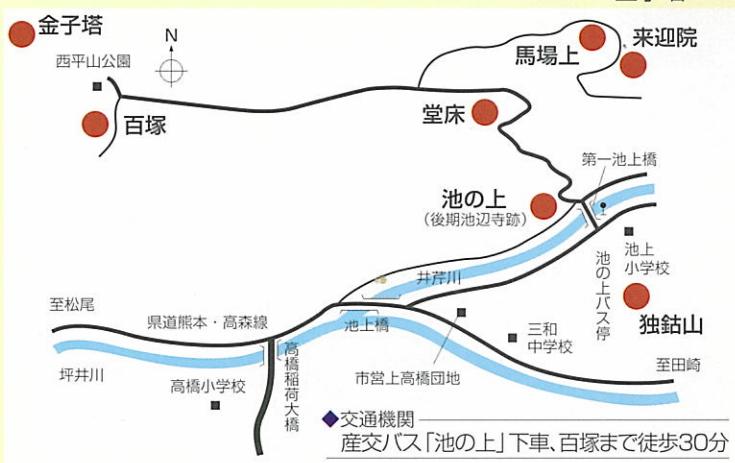
熊本市では史跡池辺寺跡の整備事業を進めています。まず史跡指定地である百塚地区から整備を始めます。しっかりと遺跡を保存し、わかりやすく見学できるように整備します。



金子塔



百塚地区の現在



◆交通機関
産交バス「池の上」下車、百塚まで徒歩30分

お問い合わせ

熊本市文化振興課 埋蔵文化財調査室

TEL.096-328-2740

E-mail:maizoubunkazai@city.kumamoto.lg.jp